

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 中央物産株式会社

コード番号 9852 URL <http://www.chuo-bussan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 児島 誠一郎

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 原 幸男

TEL 03-3796-5075

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	66,812	△0.3	742	35.7	918	16.3	406	56.2
23年3月期第2四半期	67,005	△3.1	546	102.6	789	15.2	260	△49.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 452百万円 (190.3%) 23年3月期第2四半期 155百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	36.97	—
23年3月期第2四半期	23.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	41,146	14,096	34.3
23年3月期	42,840	13,732	32.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 14,096百万円 23年3月期 13,732百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,700	△3.8	1,190	10.3	1,560	1.0	920	36.6	83.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	12,309,244 株	23年3月期	12,309,244 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	1,317,506 株	23年3月期	1,317,756 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	10,991,712 株	23年3月期2Q	10,992,677 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞や電力供給問題、さらには欧州諸国の財政問題や、それに伴う急激な円高などにより依然として不透明な状況となっております。

当業界におきましても、同業種間のみならず異業種間での合従連衡などによる業界再編が加速し、厳しい競争環境が継続しています。

このような状況の中で当社グループは、中期3ヵ年経営計画のもと、「ユニークな価値創出型企業グループ」を目指して、以下の5つの経営方針の実現を推進してまいりました。

## ①キャッシュ・フロー経営の徹底

「キャッシュ・フロー経営」を徹底することにより財務体質の強化を図り、企業価値を高めるとともに株主価値を最大化させてまいりました。

## ②生産性の向上やコスト改善による収益構造の改革

生産性の向上やコスト改善を推進する専属プロジェクトにより、全ての業務プロセスを見直し、収益性の高い企業体質への改善を進めてまいりました。

## ③専売品を軸としたマーチャンダイジング機能の強化

高粗利商品である専売品を更に開発・育成し、これを軸としたマーチャンダイジング機能を強化してまいりました。

## ④人材育成の強化と人事制度の抜本的改革

当社の人材育成プログラムである『CBCアカデミー』を継続し、論理思考やプレゼンテーションスキル、マーケティング知識、財務知識、マネジメント能力開発など、一般社員の知識能力のレベルアップと経営幹部候補の育成を図ってまいりました。

## ⑤地域卸事業(地域卸様との共同による地域密着小売店様への商品供給の充実と効率化)の強化

効率的・効果的なサプライチェーンの全体最適の仕組みを研究し、地域卸売業者様との取り組み強化を推進してまいりました。

弊社は、東日本大震災以降、中間流通業としての社会的使命の重要性から、一部の商品供給不足や節電などの対策に全力を尽くして、多くのお客様の生活に貢献すべく、全社を挙げて取り組んでおります。また、当社の社会的責任を果たすために、被災された地域や人々への支援活動として物資の支援を行いました。

また被災地における雇用改善の一助にと、被災地から数名の社員を採用しております。

以上の結果、子会社6社を含めた当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高668億1千2百万円（前年同期比0.3%減）となりました。専売品や付加価値の高い商品を軸にしたマーチャンダイジング機能の強化により、売上総利益は99億5千6百万円、売上総利益率は、前年同期比で0.5%増の14.9%に向上することができ、売上総利益が前年同期比2.9%増となりました。販売費及び一般管理費は92億1千4百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

これにより、営業利益は7億4千2百万円（前年同期比35.7%増）、経常利益は9億1千8百万円（前年同期比16.3%増）、四半期純利益は4億6百万円（前年同期比56.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

- ①日用雑貨事業におきまして、売上高は658億4千9百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は6億4千万円（前年同期比42.2%増）となりました。
- ②物流受託事業におきまして、売上高は8億5千6百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は8千8百万円（前年同期比3.7%減）となりました。
- ③不動産賃貸事業におきまして、売上高は1億6百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は4千9百万円（前年同期比29.6%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末比16億4千4百万円減の278億8千1百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が9億1千9百万円、現金及び預金が1億5千4百万円、商品及び製品が6億5千6百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比4千9百万円減の132億6千5百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が1億2千9百万円、のれんが2千2百万円減少し、投資有価証券が7千2百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度比16億9千4百万円減の411億4千6百万円となりました。

### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末比20億5千8百万円減の270億4千9百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が16億6千5百万円、短期借入金が3億3千3百万円減少したことによるものであります。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末比3億6千4百万円増の140億9千6百万円となりました。これは主として、利益剰余金が3億1千8百万円、その他有価証券評価差額金が4千5百万円増加したことによるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物残高は、7億8千7百万円（前年同期比2億8千4百万円減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は、4億9千万円（前年同期比12億4千2百万円増）となりました。これは主に、仕入債務の減少16億6千5百万円、売上債権の減少9億1千9百万円、たな卸資産の減少6億8千7百万円によるものであります。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は、1億9千5百万円（前年同期比1億8百万円増）となりました。これは主に、投資有価証券の取得に2千6百万円、有形固定資産の取得に5千7百万円及び無形固定資産の取得に7千7百万円を支出したことによるものであります。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動に使用した資金は、4億4千9百万円（前年同期比14億6千3百万円減）となりました。これは主に、短期借入金の減少3億3千3百万円と配当金の支払8千9百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の連結業績につきましては予想通りに推移しておりますので、現時点におきましては、平成23年5月12日発表の平成24年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	941	787
受取手形及び売掛金	16,929	16,010
商品及び製品	8,087	7,430
仕掛品	77	85
原材料及び貯蔵品	86	46
その他	3,450	3,538
貸倒引当金	△47	△18
流動資産合計	29,525	27,881
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,069	3,939
土地	5,094	5,094
その他(純額)	330	285
有形固定資産合計	9,493	9,319
無形固定資産		
のれん	45	22
その他	265	301
無形固定資産合計	311	324
投資その他の資産		
投資有価証券	1,442	1,514
その他	2,123	2,163
貸倒引当金	△55	△56
投資その他の資産合計	3,510	3,621
固定資産合計	13,314	13,265
資産合計	42,840	41,146

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,507	10,841
短期借入金	11,550	11,216
未払法人税等	440	440
賞与引当金	395	296
役員賞与引当金	37	—
返品調整引当金	60	97
その他	1,857	1,948
流動負債合計	26,849	24,840
固定負債		
退職給付引当金	186	202
役員退職慰労引当金	429	438
資産除去債務	445	419
その他	1,197	1,148
固定負債合計	2,259	2,209
負債合計	29,108	27,049
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,608	1,608
資本剰余金	1,321	1,321
利益剰余金	11,079	11,397
自己株式	△333	△333
株主資本合計	13,675	13,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56	102
その他の包括利益累計額合計	56	102
純資産合計	13,732	14,096
負債純資産合計	42,840	41,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	67,005	66,812
売上原価	57,325	56,855
売上総利益	9,679	9,956
販売費及び一般管理費	9,133	9,214
営業利益	546	742
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	19	20
仕入割引	252	225
その他	74	97
営業外収益合計	357	354
営業外費用		
支払利息	55	50
売上割引	51	56
デリバティブ評価損	—	61
その他	7	10
営業外費用合計	114	178
経常利益	789	918
特別利益		
固定資産売却益	0	1
貸倒引当金戻入額	2	—
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産除却損	0	65
投資有価証券評価損	5	31
ゴルフ会員権評価損	2	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	161	—
災害による損失	—	11
その他	8	5
特別損失合計	178	115
税金等調整前四半期純利益	613	804
法人税等	353	398
少数株主損益調整前四半期純利益	260	406
少数株主利益	—	—
四半期純利益	260	406

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	260	406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△104	45
その他の包括利益合計	△104	45
四半期包括利益	155	452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155	452
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	613	804
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	161	—
減価償却費	218	205
のれん償却額	22	22
負ののれん償却額	△50	△50
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△1
有形固定資産除却損	0	65
無形固定資産除却損	0	—
ゴルフ会員権評価損	2	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	△27
賞与引当金の増減額(△は減少)	△55	△136
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7	16
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	8
返品調整引当金の増減額(△は減少)	51	37
受取利息及び受取配当金	△30	△31
支払利息	55	50
売上債権の増減額(△は増加)	△981	919
破産更生債権等の増減額(△は増加)	8	△0
たな卸資産の増減額(△は増加)	△537	687
仕入債務の増減額(△は減少)	△283	△1,665
その他	336	6
小計	△480	911
利息及び配当金の受取額	33	36
利息の支払額	△56	△51
法人税等の支払額	△248	△406
営業活動によるキャッシュ・フロー	△752	490
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44	△57
有形固定資産の売却による収入	0	4
無形固定資産の取得による支出	△26	△77
投資有価証券の取得による支出	△34	△26
その他	18	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86	△195
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△500	—
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,638	△333
長期借入金の返済による支出	△10	—
配当金の支払額	△87	△89
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△0	—
リース債務の返済による支出	△26	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,013	△449
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	175	△154
現金及び現金同等物の期首残高	897	941
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,072	787

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。